

**臓器提供や臓器移植についてみなさんがどう考えているのか
家族とよく話し合ってみましょう**

MEMO

臓器移植に関するお問い合わせを受け付けています。

(公社)日本臓器移植ネットワーク

ウェブサイトにもさまざまな情報が掲載されています。

臓器移植 検索 <https://www.jotnw.or.jp/>



かくまく
眼球(角膜)の移植についてはこちらまでお問い合わせください。

(公財)日本アイバンク協会



TEL.03-3293-6616 アイバンク 検索 <https://www.j-eyebank.or.jp/>

この印刷物はAランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。

2023.11

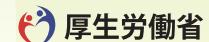
いのちの贈りもの



グリーンリボンは、
移植医療のシンボルです。

INDEX

臓器移植ってなんだろう？	1
移植が必要な患者さんはどれくらいいるの？	1
脳死と心臓死	2
考えよう。話し合おう。	3
あなたは考えたことがありますか？	4
臓器を提供した人の家族の話	5
臓器移植を受けた人の話	5
臓器提供の意思表示	6



臓器移植ってなんだろう？

人間のからだの中には、心臓・肺・肝臓・腎臓などの臓器があり、それが決められた仕事をしています。

でも、薬や手術では治せないほど臓器が機能しなくなった時、亡くなつた方のまだ健康な臓器と交換することで元気なからだを取り戻

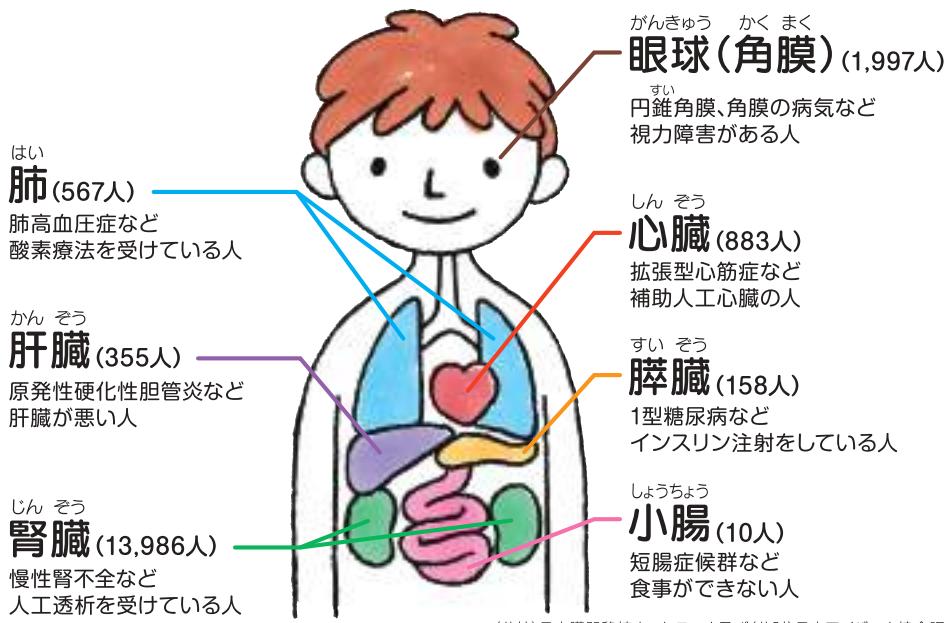
す治療法が「臓器移植」です。臓器を提供する人を**ドナー**といい、移植を受ける人を**レシピエント**といいます。



移植が必要な患者さんはどれくらいいるの？

臓器移植ネットワークとアイバンクに登録できる臓器と主な病気

(令和5年7月31日現在の移植希望登録者数)



※(公社)日本臓器移植ネットワーク及び(公財)日本アイバンク協会調べ

脳死と心臓死

人が臓器を提供する場合の「死」には、2種類あることを知っていますか？

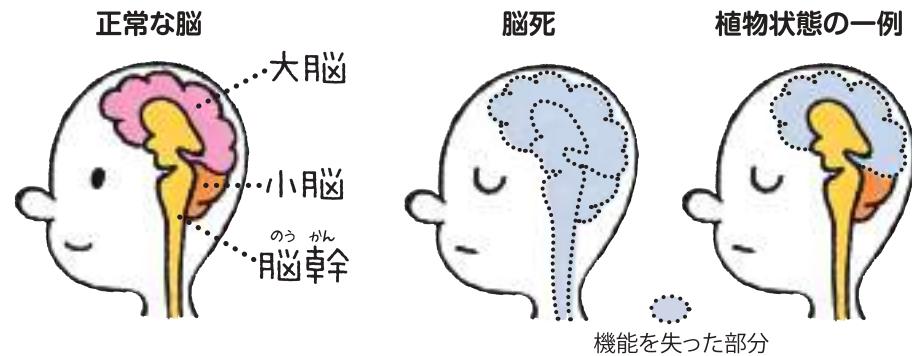
1つは、心臓が止まって血液が流れなくなる「**心臓死**」です。こうなつた人のからだは、だんだん冷たくなっていきます。心臓死の場合に提供することができる臓器は、腎臓・膵臓・眼球です。

もう1つは、「**脳**が機能しなくなる**「脳死」**」です。事故や病気などで脳が傷ついて、すべての機能を失ってしまうと、意識がなくなり、呼吸は止まってしまいます。しかし、機械を使って、酸素を肺に送ると、心臓

はしばらく動き続け、このとき「からだはあたたかい」状態です。しかし、一度「**脳死**」の状態になつてしまふと、もとの元気な姿にもどることはなく、やがて心臓も止まってしまいます。多くの国々では、脳死は人の死とされています。日本でも1997年に臓器移植法(臓器の移植に関する法律)ができ、**脳死で臓器を提供する場合に限り、脳死を人の死とすることになりました。**

脳死の場合に提供することができる臓器は、心臓、肺、肝臓、腎臓、膵臓、小腸、眼球です。

正常な脳、脳死、植物状態の一例



意識がなく、脳死と同じように見える植物状態は、脳幹の機能が残っていて、自分で呼吸できることが多く、回復する可能性もあり、脳死とはまったく違います。

考え方。話し合おう。

もし、自分や家族が臓器移植により命が助かるかもしれないとしたら、“臓器移植を受けたい”ですか、それとも“受けたくない”ですか？

もし自分や家族が死に直面したとき、“提供できる臓器をあげたい”ですか、それとも“あげたくない”ですか？

どれも大切な「自分の気持ち」で

す。正解も不正解もありませんが、「あなた」はどうですか？よく考えてみましょう。

また、**本人の気持ちが分からない場合は、臓器提供をするかどうかは残された家族だけで決めることになります。みなさんがどう考えているのか家族に伝え、家族とよく話し合っておくことが大切です。**



「移植医療に関する世論調査」*

(令和3年9月 内閣府大臣官房政府広報室)

あなたは、これまでにご家族や親しい方のうちどなたかと臓器提供について話をしたことがありますか？

話をしたことがある 43.2% 話をしたことがない 56.2% わからない 0.6%



*調査報告書は内閣府ホームページで公表しています。<https://survey.gov-online.go.jp/r03/r03-ishoku/index.html>

あなたは考えたことがありますか？

みなさんは「死」について考えたことがありますか？

つい、さっきまで元気だった人が、交通事故で死んでしまうかもしれません。何かのきっかけで病気が急に悪くなり、それが死につながってしまうこともあります。

もし、交通事故や病気で死んでしまっても、いくつかの臓器が健康

な状態だったら？その健康な臓器は、臓器が機能しなくなったために苦しんでいる人、死と向き合っている人に提供することができます。

どんなに健康な人にも、残念ながら寿命があり、いつまでも生き続けることはできません。いつかは「死」がやってきます。

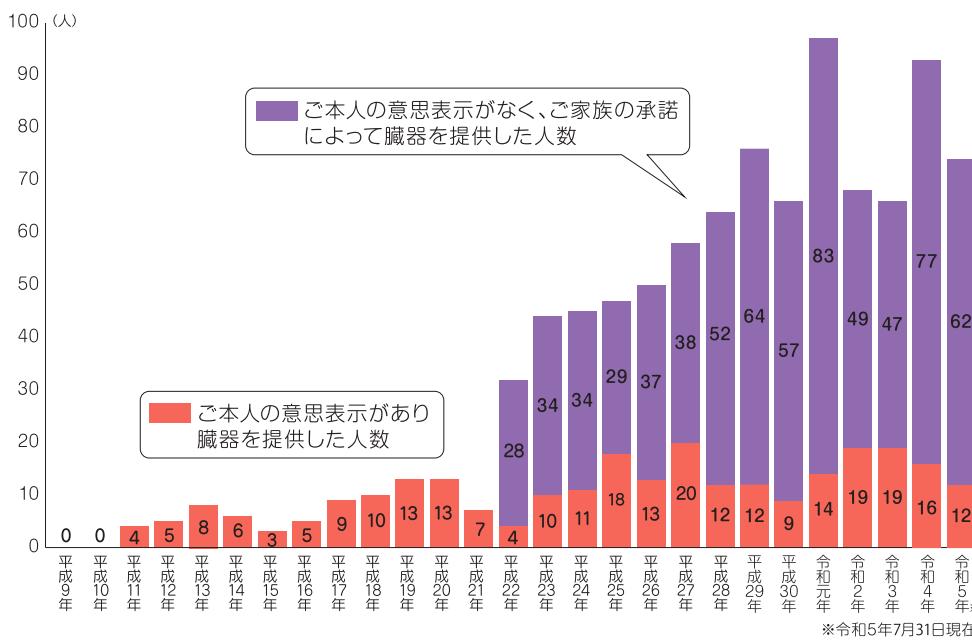
脳死で臓器を提供した方の人数

平成9年10月～令和5年7月

ご本人の意思表示がなく、
ご家族の承諾によって臓器を提供した人数

合計963人
691人

平成22年から、ご本人の意思が不明でも、ご家族の判断によつて臓器の提供ができるようになりました。



臓器を提供した人の家族の話

もし、愛する家族を突然失つたら?.....あなたは考えたことがありますか。

「お父さん、自発呼吸ができなくて…」それは突然のことでした。前日、自宅で倒れた父は救急搬送され、手術は成功したと思い込んでいましたが、病院の先生は言いました。「お父さんは脳死状態です。命はもってあと1週間です」さらに「脳死の方は臓器提供が可能です。患者さんの意思が分からぬ場合は、ご家族の意見に従います。どうされるか話し合って決めてください」と。

父はボランティアよく携わっていました。きっと、

あげてほしいと言うんじやないか…それが私たち家族の出した結論でした。翌日、臓器提供の手術が行われました。

ぽっかり穴が開いたような日々、涙を流す私に弟が言いました。「僕は寂しくないよ。だってお父さんの心臓はしっかりと動いているでしょう」そうだ、父はまだ生きている。誰かの命をつなぎ、この空の下で、生き続けている。

明日の命を保証されている人は誰もいない。だからこそ、今日というこの一日を大切に、自分らしく笑顔で生きていきたい。

臓器移植を受けた人の話

10歳代の時に肝臓移植を受けた男性

中学1年生のときに分かった肝臓の難病。いつも通り学校へ通っていた毎日から一転して入院。臓器移植でしか助かる道がない難病であることを告げられ、“なんで自分が?”と何度も思いました。

移植を受けられるか分らない不安、誰かのいのちをつないでもらうことへの葛藤。精神面でも病気との付き合いは難しかったです。

突然の連絡で移植を決断し、手術を終えて退院したときが、一番印象に残っています。涙を流して見送ってくれた看護師さん。“どれほど自分が恵まれていたのだろう”“こんなに自分のことを思ってくれ

ていた”などたくさんの感情が込み上げました。移植後には体のだるさも取れ、学校にも休まずに行けるようになりましたと嬉しかったです。

私は今、看護師を目指して大学に通っています。入院中、いつも気にかけてくれた看護師さんの存在が大きかったです。

生死に關わるような体験をし、何気ない生活のすべてが輝いて見えるようになりました。第二のいのちを預けたことに感謝し、ドナーの方と共に夢に向かって頑張ります。

サンクスレター(感謝の手紙)

移植を受けた患者さんは、臓器を提供してくれた人のご家族に絵や手紙などで感謝の気持ちを表現し、移植コーディネーターを介し、やり取りすることができます。※ただし実名は出せません

腎臓移植を受けた女の子のサンクスレター▶



「移植医療によってつながるいのち」をテーマに厚生労働省YouTubeチャンネルで動画を公開していますのでご覧ください。 <https://www.youtube.com/watch?v=mum0AftgEdc>

移植経験者や臓器提供者の家族の手記を(公社)日本臓器移植ネットワークのホームページで紹介しています。 <https://www.jotnw.or.jp/note/>

臓器提供の意思表示

「提供したくない」という意味も書いておくことができます。「提供したい」という意味を書くのは15歳以上が有効ですが、「提供したくない」という意味は15歳未満でも有効です。最終的な判断はご家族がするため、意思表示カードに書いておくことで、家族に自分の意思を確実に伝えられます。

「意思」という言葉は、「はっきりした気持ち」のことです。臓器を提供したい人も提供したくない人も、自分の意思を正確に伝えるための良い方法は、臓器提供意思表示カードやマイナンバーカードなどに書いておくことです。

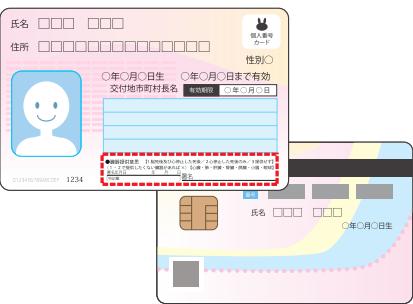
この「意思表示カード」は、「自分の臓器を提供したい」という意思も、

臓器提供意思表示カードなどの様式

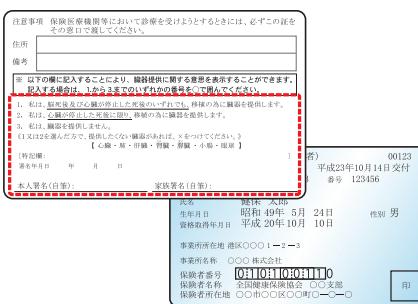
◎臓器提供意思表示カードの意思表示欄(例)



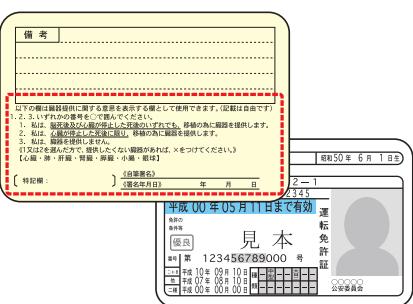
◎マイナンバーカードの意思表示欄(例)



◎健康保険証の意思表示欄(例)



◎運転免許証の意思表示欄(例)



(公社)日本臓器移植ネットワークのホームページでも臓器提供意思登録ができます。
<https://www2.jotnw.or.jp/>

